



五木東小 第19号

学校便り
文責
生田 文明



秋をいただきます



平成二十四年三月に、森林組合の方々と一緒に椎茸のこま打ちをしました。そして一年半後、そのこま打ちをしたほた木から待望の椎茸が出てきました。

今年も椎茸はでてこないのかと諦めかけていた二十三日なんと、五cmほどの椎茸が五、六本出ていました。二日後には、なんと傘が二十cmにも開いていました。その成長の速さにびっくりしました。

急いで、上級生に収穫させました。今週は下級生が収穫します。各家庭で食べていただければと思っています。

「大きさにびっくりした。」「とてもおいしかった」との声が上級生からは聞こえてきました。また、「家の椎茸も急に大きくなったので、日曜日は、一日中椎茸の収穫作業の手伝いをしていました。」と話してくれる子どももいました。

地域の特産物、仕事について、学習するよい機会となりました。しばらくは、学校のほた場で、椎茸が採れます。給食の食材として、メニューに入れ、五木のおいしい秋をいただくことにします。

森林組合の方々には、原木の搬入やこま打ち指導などありがとうございました。また、各家庭では、子どもたちが持ち帰った椎茸での料理づくりで、大変お世話になります。食卓を囲んで、椎茸など五木の特産物について話題にしていいただければと思います。



縦割り班給食を始めました

十五日から、給食のマナーのスキルアップと異学年間でコミュニケーションを図ることを目的に縦割り班給食を始めました。

一年ぶりの縦割り班給食とあって、初日は、段取りがうまくいかず、配膳作業に時間がかかりました。しかし、その後は、上級生を中心に声を掛け合い、手際よく準備ができるようになりました。上級生が、ご飯をよそう一年生を手伝ったり、お箸の持ち方を教えたりする姿も見られるようになりました。



こんにやく作りに挑戦



三、四年生の総合的な学習の時間では、「優しさいっぱい五木村」をテーマに学習しています。二十六日は、子どもたちが調べ学習を進める中で出会った平野にお住まいの出口さんのお宅へ、こんにやくの作り方を教えてもらいに行きました。

こんにやく芋は、育つまでに三年間かかるそうです。また、こんにやくをおいしく作るためには、「大きな声で話したり、笑ったりしてはいけない。」と昔から言い伝えられているそうです。



<PTA会員研修・球技大会>

二十七日(日)は、五木村PTA連絡協議会と五木中央保育所合同の教育研修会と球技大会が開催されました。教育研修会では、戸田校長先生をお迎えし、「情報モラルに関する課題と対応について」講話をしていただきました。「携帯電話の利用で、いじめや性犯罪に巻き込まれる事案が昨今多く発生しています。これは、他人ごとでは、ありません。子どもたちを守るために、保護者としてしなければならいこと、それは、コミュニケーション力をつけること。このコミュニケーション力の未熟さから子どもたちは、様々な被害に合っています。」と携帯電話を子どもたちに与える前に保護者としてしなければならいことを話していただきました。ネット社会と向き合えるように我々大人も学習を積み重ねていきましょう。



その言い伝えに従い、子どもたちは、声をひそめて作業を行いました。
芋がゆであがると皮を剥き、小さく切りミキサーにかけました。そして、どろつとなつた芋をぬるま湯に入れ混ぜました。最後に、灰汁をいれて混ぜ合わせ、形を整えて優しく大鍋に入れ、ゆでて出来上がりです。
「とてもおいしかった」「家でも作ってみたい」そんな声が聞こえてきました。
今回のこんにやくづくりは、五木の食文化を学ぶよい機会となりました。このこんにやくづくりを、ぜひ、子どもたちが受け継いでもらいたいと願います。

